

《取扱説明書》





安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示



<u>目次</u>

お取り扱いについてのお願い	2
●各部の名称:	З
●輝度調節ダイヤル	4
●補助テーブルの使い方	4
●標準付属品と収納場所	5
●操作方法6~25	5
 ◎電源のつなぎ方	6
★スタート・ストップボタンを使用する場合(6
★フットコントローラーを使用する場合	6
 ◎速さの調節の什方	6
★スピードコントロールつまみ	6
★フットコントローラー	6
◎スタート・ストップボタン	6
◎キーの主なはたらき	0
◎模様の選び方1	1
◎お好み記憶モード/ブザー音/多国語設定方法…1	2
◎ドロップつまみの使い方1:	З
◎押さえ圧調節レバー1:	З
◎押さえ上げ1:	З
◎押さえの取りかえ方14	4
◎押さえホルダーの外し方、付け方14	4
◎針の取り扱い1!	5
★針の取りかえ方1!	5
★針のしらべ方1!	5
★布に適した糸や針を選ぶ目安1!	5
◎下糸の準備16~18	8
★糸こまの取り付け10	6
★ボビンの取り出し10	6
★ボビンに糸を巻く1 ⁻	7
★ボビンのセット18	8
◎上糸の取り付け19~2	1
★上糸をかける19	9
★糸通しの使い方20	0
★下糸の引き上げ2	1
◎糸調子の合わせ方22	2
★自動糸調子22	2
★マニュアル糸調子21	2
◎直線ぬい23	3
★ぬい始め2	3
★ぬい方向の変更23	3
★ぬい終わり	3
◎針板ガイドラインの利用24	4
◎コーナーリングガイドの利用	4
◎厚手の布のぬい始め方24	4
◎ぬい目のあらさをかえるとき	5
◎ 値線ぬいの針落ち位置をかえるとき	5
●いついつは美用ぬい	4
◎ □線状のぬい目いろいろ	/
 ⇒ジグザグぬい	d C
◎トリコットないたち日かがり	9
⇒ レントン・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ショ	9
$= - 2 (\land) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 $	1
◎ C の IE の	י כ
	_

◎センサーボタンホール	.33~36
★ボタンホールの種類	
★ぬい方	.34~36
★ぬい目のあらさ調節	
★ぬい目の幅調節・・・模様#17/18	
◎センサーボタンホール(#15/#16)	
◎芯入りセンサーボタンホール	
◎オートボタンホール(#19)	
◎ファスナー付け	.40~41
★ファスナー押さえの付け方	40
★準備(例:左脇あきのぬい方)	40
★ぬい方	.40~41
◎ダーニング(つくろいぬい)	42
◎かんぬき止めぬい	43
◎三つ巻きぬい	44
◎くけぬい(まつりぬい)	45
◎ピンタック	
◎キルティング	46
◎シェルタック	47
◎アップリケ	47
◎スモッキング	48
◎ファゴティング	48
◎スカラップ(A)	49
◎スカラップ(B)	49
◎パッチワーク	50
◎模様密着ぬい	50
◎クロスステッチ	51
◎飾りぬい	51
◎コーディング	
◎2本針ぬい	53
◎模様の形の整え方	
リノロクラムぬい 5	52~58
◎連続模様ぬいの例	
◎止めぬいを使った模様ぬいの例	
◎反転記憶を使った模様ぬいの例	
◎フロクラムぬいを途中でやめたとき	
◎リンホイントぬい	
	19~00
◎ノロクフム内谷の確認	
◎内谷の一部を取り消9とさ	
◎内谷の一部挿入 2年 機能 (2)	60 61
	01 61
	01 61
◎ 迴別 < ーユアルク式	ري م
ヘノノリリリナ八1 し	UZ
◎」、よくなり困い滞除	20
◎ビュノ゙みと耳似の祖のひし	20
ミシンの取りりたり	 АЛ
~~~~~~ こうしょう こうしょう しょう しんしょう しんしょう しんしょう しょうしん しょうしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しょう しんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	

# お取り扱いについてのお願い

## ◇ご使用の前に

- ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。



## ◇いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところはさけてください。
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。



◇ 修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」 (64ページ)により点検・調整を行ってください。 ●各部の名称







ダイヤルをまわすと液晶表示板のあかるさがかわ ります。

## ●補助テーブルの使い方



【外し方】

補助テーブルの下側に手をかけて、横に引いて外 します。

【フリーアームの使い方】 ^{そでくち} 袖口やすそなどのぬい、およびふくろ物の口端の 始末に利用します。



ピン

【付け方】

フリーアームにそわせ、ピンを穴に入れ取り付けます。

## ●標準付属品と収納場所





# ●操作方法◎電源のつなぎ方

※フットコントローラーは、モデルにより別売品になります。

★スタート・ストップボタンを使用する場合 ★フットコントローラーを使用する場合



- 電源スイッチを「OFF」(切)にして、電源プラ グをコンセントに差し込みます。
- 電源スイッチを「ON」(入)にします。



- ① 電源スイッチを「OFF」(切)にして、フットコン トローラーのプラグをプラグ受けに差し込みす。
   ② 電源プラグを、コンセントに差し込みます。
   ③ 電源スイッチを「ON」(入)にします。
- ※ 電源プラグを引き出したときに、コードに黄印が出てきたらゆっくり引いてください。また、赤印以上は引き 出さないでください。



#### ◎速さの調節の仕方

★スピードコントロールつまみ



ぬう速さは自由に調節できますので、スピードコ ントロールつまみをお好みの速さにセットしてく ださい。



★フットコントローラー



フットコントローラーは、深くふみ込むほど速く なります。

※スピードコントロールつまみは、「はやい」にセットしてください。※フットコントローラー使用中は、スタート・ストッ

プボタンは使えません ボタンを押すと、ミシンは数針ゆっくり動き始め てから、スピードコントロールつまみでセットし た速さになります。もう一度押すと、通常、針が 上の位置で止まります。

※スタート・ストップボタンを押して <u>
下げて下さい</u> 表示されたときは、押さえ上げをさげてからスター ト・ストップボタンを押してください。

## ◎キーの主なはたらき









反転記憶

⑩反転記憶キー

ぬい情報が表示されます。

※「説明」キーを押すごとに、画面が切りかわります。

※説明内容は、模様に適した押さえや、押さえ圧が表 示されます。

模様を選んでからキーを押すと、選んだ模様を左 右反対に記憶します。

※ダイレクトモードのとき、および記憶キー(10ペー ジ⑬)で記憶できない模様は、反転記憶できません。

キーを押すごとに、模様#40~48の長さを1~5

(}}) 40 41 42 43 44 45 46 47 48

模様を記憶したあと、または、編集したあとにス トック/コールキーを押すと、はじめに登録した模 様は取り消され、新規に模様が登録されます。 それ以外(模様を記憶していない)のときに、ス トック/コールキーを押すと登録した模様を呼び出

※最大50模様までのプログラムぬいが登録できます。 ただし、ダイレクトモードのときと、記憶キー (10ページ(3))で記憶できない模様は、登録でき ません。

※登録した模様は、変更されるまで永久保存されま す。





模様を選んでから記憶キーを押すと、選んだ模様 が記憶されます。さらに、他の模様を選んでから キーを押すと、前の模様に続けて、次に選んだ模 様を記憶します。記憶キーを押し続けると、キー を押した数だけ最後に選んだ模様を記憶します。 (最大記憶数は50です。)

※記憶できない模様は、

↓ ≩ ┃ ↓ } ┃ ₿ **0 0 0 0 1 1** • **1 1** 

03 09 10 11 14 15 16 17 18 19 20 21 22

です。

※ダイレクトモードのときには、記憶できません。



模様を記憶させているときにまちがえて選んだ模様は、とりけしキーを押すことで、その模様だけが取り消されます。

記憶させて、ぬい始めてからとりけしキーを押す と、記憶させた模様すべてが取り消されます。



【ダイレクト選択】 ダイレクトモードのとき、模様#01~10は、 キーを押すだけで、直接選ぶことができます。

※選択モードのときには、模様#01~10は、模様番 号を入力して選びます。

#### 【テンキー】

選択モードのときに、模様は2桁の模様番号を入力 して選びます。

#### ◎模様の選び方





#### ◎お好み記憶モード/ブザー音/多国語設定方法



## ◎ドロップつまみの使い方



#### ◎押さえ圧調節レバー

ボタン付けなどで送り歯をさげるときには、ドロップつまみを動かします。

※終わったら、ドロップつまみを送り歯をあげる位置に もどし、手ではずみ車を手前にまわして、送り歯があ がることを確認します。

①送り歯をさげた位置②送り歯をあげた位置(通常の位置)

押さえ圧調節レバーの矢印を目盛りに合わせます。

※普通ぬいのときには「3」に合わせます。 うす手の化繊地や伸縮性のある布地をぬうとき、およびアップリケなどぬいしろ部分が重なり合うものを カーブしてぬうときなど、ぬいずれしやすい場合は 「2」または 「1」に合わせます。 しつけのときは「0」に合わせます。



◎押さえ上げ



押さえ上げで、押さえのあげさげをします。 押さえ上げを普通にあげた位置より、さらに高く あげると、押さえはさらにあがります。 厚物の布などを入れるときの補助リフトとしてお 使いください。

## ◎押さえの取りかえ方



 ①押さえ上げをあげ、押さえホルダーのレバーを 押して、押さえを外します。

②押さえのピンを押さえホルダーのみぞに合わせて、押さえ上げを静かにさげます。

※レバーは、真上から押さないでください。



【押さえホルダーの外し方】

【押さえホルダーの付け方】

②押さえホルダー止めねじを右にまわして付けます。

⚠ 注意

押さえ、押さえホルダーの交換は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行なってください。 けがの原因になります。

#### ◎針の取り扱い

#### ★針の取りかえ方



<u> /</u> ] 注意	
----------------	--

針の交換は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを 抜いてから行なってください。 けがの原因になります。

①針止めねじを手前に1~2回まわしてゆるめ、針を外します。

②針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをねじまわしでかたくしめます。

★針のしらべ方



針の平らな面を平らなもの(針板など)に置いた とき、すきまが針先まで均等に見えるのが良い針 です。

針先が曲がったり、つぶれているものは使わない ようにしてください。

#### ★布に適した糸や針を選ぶ目安

	布	糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90番	9番~11番
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール地	絹 糸 50番 綿 糸 60番 ポリエステル、ナイロン 50~90番 綿 糸 50番	11番~14番 14番
厚い布	デニム ツィード コート地	絹 糸 50番 綿 糸 40番~50番 ポリエステル 40番~50番	14番~16番
		ポリエステル 30番 綿 糸 30番	16番

※一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。 この表を目安に、針と糸を選び、試しぬいをして確かめてください。

※原則として、上糸と下糸は、同じものを使用してください。

※伸縮性のある布(ジャージー、トリコット)や目とびしやすい布地などには、ジャノメブルー 針を使用すると防止効果があります。(市販SP針も同様の防止効果があります。)

#### ◎下糸の準備 ★糸こまの取り付け



糸立て棒を軽くおこし、糸の端が糸こまの下から 手前に出るようにして糸こまを入れ、糸こま押さ えで糸こまを押さえます。

※糸こま押さえ(小)は小さい糸こまに使用します。

#### ★ボビンの取り出し



①角板開放ボタンを右にずらして角板を外します。

②ボビンを取り出します。





★上糸をかける





※押さえ上げをあげます。

- ※電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを2回押して、 針をあげます。 針をあげたら電源スイッチを切ります。
- 押さえ上げをあげた状態で、糸こまから糸を引き出し、糸こま側の糸を軽く押さえます。
   左手で糸を持ち、糸案内体の下に巻きつけるようにしてかけ、糸案内板にそっておろします。
- ② 糸案内板の下をまわして、左上に引きあげます。

③ 天びんの右からうしろへまわしスリットに入れ、 穴先まで引き入れて、まっすぐ下におろします。

④ 糸案内に右からかけます。

- ⑤ 針棒糸掛けに左からかけます。
- ※針には糸通しを使って糸を通します。 糸通しの使い方は20ページをごらんください。

#### ★糸通しの使い方



#### ★下糸の引き上げ



押さえ上げをあげ、糸の端を指で押さえておきます。

② 上下停針ボタンを2度押し、針をあげます。
 上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

③ 上糸・下糸を押さえの下にして、うしろへそろ えて出します。

#### ◎糸調子の合わせ方

★自動糸調子



★マニュアル糸調子



このミシンは、指示線に糸調子ダイヤルの「オート」を合わせると、シグナルが点灯し、普通ぬい のときにバランスよくぬえる糸調子に自動セット されます。

画面表示は、「オート」が表示されます。

※特殊なぬい方をする模様のときには、画面にマニュ アル糸調子の数値が表示されシグナルが点滅します ので、糸調子ダイヤルをマニュアル糸調子の数値に セットしてください。

直線ぬいのときは、上糸と下糸が布のほぼ中央で 交わります。

ジグザグぬいのときは、布の裏側に上糸が少し出 るくらいになります。

糸や布の種類によって糸調子のバランスがとれないときは、糸調子ダイヤルを「0~9」の範囲に合わせると、シグナルは消灯し、マニュアル糸調子となり、上糸と下糸の交わる位置を自由に調節できます。

画面表示は、一般的なぬいの糸調子目安が表示されます。

(図の「2~6」は直線模様の例です。)

#### ◎直線ぬい



#### ★ぬい始め



#### ★ぬい方向の変更



★ぬい終わり



糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手前にまわし て、ぬい始めの位置に針をさします。 押さえ上げをさげて、ぬい始めます。

※ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押しな がら返しぬいする方法と、自動返しぬいの付いた模 様#03を使う方法があります。 (26ページをごらんください。)

ミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布に さし、押さえ上げをあげます。針を布にさしたま ま、ぬい方向をかえます。 押さえ上げをさげて、ふたたびぬい始めます。

※ぬい方向をかえるとき、コーナリングガイドを目安 にすると便利です。(24ページをごらんください。)

【返しぬい】

 ・①返しぬいボタンを押しながら数針返しぬいをします。
 ・

※模様#03のときは、返しぬいボタンを一度押すだけ で自動的に返しぬいをします。

【布の引き出し方】

②押さえ上げをあげて、布を向こう側に静かに引き出します。

【糸切り】 ③布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切り ます。

## ◎針板ガイドラインの利用



## ◎コーナーリングガイドの利用



#### 布端を針板ガイドラインに合わせてぬいます。

数字	15	20	4/8	5/8	6/8
距離(cm)	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9

[※]ガイドラインの数字は、針穴中央からガイドラインま での距離を「ミリメートル」または「インチ」で示し ています。

- 【布端から1.6cmのところで直角にぬい方向をか えるとき】
- ①布端がコーナーリングガイドのところにきたら ミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布 にさします。
- ②押さえ上げをあげ、布を回転させてガイドラインの5/8(1.6cm)に合わせます。
- ③押さえ上げをさげ、ミシンをスタートします。



①ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえの黒色 ボタンを押し込みます。

②ボタンを押したままで押さえ上げをさげます。※押さえが水平に固定されます。

③ボタンから手をはなし、ぬい始めます。

24

#### ◎ぬい目のあらさをかえるとき



ぬい目あらさキーを押すと、自動セットの数値2.2 が表示されます。

※0~5の範囲でかえることができます。

 「一」キーを押すと、表示される数値が小さく なり、ぬい目が細かくなります。

②「+」キーを押すと、表示される数値が大きく なり、ぬい目があらくなります。

※返しぬいのぬい目あらさは、2.5以上にはなりません。

## ◎直線ぬいの針落ち位置をかえるとき



ぬい目の幅キーを押して、針落ち位置をかえます。 ①「一」キーを押すと針が左へ移動します。

②「+」キーを押すと針が右へ移動します。

※模様	ł	ł	٩		I		Ľ
	ф	þ	⊂p				
	01	02	03	04	11	27	28
1十41寸	十一十里	まわこ	; z - I		もて描	ドスナ	

は針落ち位置をかえることができる模様です。

# ●いろいろな実用ぬい

### ◎直線状のぬい目いろいろ



地ぬいやファスナー付けに使用します。

端ぬいに使用します。



しっかりしたほつれ止めを自動的に行うときに使用します。(ぬい終わりにきたら、返しぬいボタン (1)を一度押します。数針返しぬいをして自動的に止まります。)

【三重ぬい】 ^{模様 押さえ} A基本押さえ 04 オート A 3525 伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに便利 です。



目立たない止めぬいを自動的に行うときに使用します。(ぬい終わりにきたら、返しぬいボタン(1)を一度押します。数針止めぬいをして自動的に止まります。)





【サドルステッチ】 模様 押さえ A 基本押さえ 28 オート 自 3525 布が伸びても、糸が切れにくい伸縮性のあるぬい 目です。

飾りぬいや、キルティングなどに利用します。

ぬい目のあらい三重ぬいです。飾りぬいや刺し子 風にも使えます。

#### ◎ジグザグぬい





伸縮性のある布(ニット、ジャージー、トリコット など)には芯地を貼るときれいにぬえます。

※ぬい目の幅を調節するときは、針を布からあげてく ださい。

ぬい目の幅キーまたはぬい目のあらさキーを押す と、自動セットの数値5.0(幅)と2.0(あらさ) が表示されます。

【ぬい目の幅をかえるとき】

※0~7.0の範囲でかえることができます。

「一」キーを押すと、表示される数値が小さくな り、ぬい目の幅は、せまくなります。 「+」キーを押すと、表示される数値が大きくな り、ぬい目の幅は、広くなります。



「一」キーを押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目のあらさは、細かくなります。 「+」キーを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目のあらさは、あらくなります。

※返しぬいのぬい目あらさは、2.5以上にはなりません。



## ◎ジグザグぬいたち目かがり





布端のほつれ止めとして広く利用します。 布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬい ます。

※ぬい目の幅は、5.0~7.0でぬいます。

## ◎トリコットぬいたち目かがり





ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、 布端の反り防止などに利用します。 ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところ をぬい目近くで切り落とします。

## ◎ニットステッチ





ぬいしろを少し余分にとってぬい、余分なところ をぬい目の近くで切り落とし、片方にたおして仕 上げます。

## ◎その他のかがりぬい

【かがりぬい(1)】





地ぬいを兼ねたかがりぬいに利用します。 また、布端のほつれ止めとしても使えます。 布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬ います。

※ぬい目の幅は、5.0~7.0でぬいます。

※目のとびやすい伸縮性の布や目のつんだ布には、ブ ルー針を使用すると効果があります。

## 【かがりぬい(2)】





中、厚地のしっかりした布端をかがるときに利用 します。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。

※ぬい目の幅は、5.0~7.0でぬいます。

## ◎ボタン付け





ドロップつまみを動かして送り歯をさげます。 (送り歯のさげかたは13ページをごらんください。)

- 針に糸を通さない状態で押さえの下にボタンを置き、 はずみ車をまわして、ぬい目の幅がボタン穴の間かく と同じになるように、ぬい目の幅ボタンで調節してお きます。
- ② 針に糸を通し、布とボタンを押さえの下にセットします。
- ③ はずみ車を手前にまわして針がボタンの左右の穴にお りることを確かめます。
- ④ ミシンをスタートさせ、10針くらいぬったら止めます。
- ※ ぬい始めの上糸と下糸は、はさみで切り取ってください。
- ⑥ ぬい終わりの下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、
   上糸と下糸を結びます。
- ※ ぬい終わったらドロップつまみをもとにもどし、送り 歯を上げます。

## ◎センサーボタンホール

#### ★ボタンホールの種類

※模様#10、#15、#16のとき、模様を選ぶと自動セットされている幅が表示されます。 ぬい目の幅キーの「一」または「+」キーで、大、中、小3種類の幅が選べます。



#### 【注意事項】

※ボタンホールの長さは、ボタンをセットするだけで自動的に決まります。
※ボタンの直径が2.5cmまで、ボタンホールができます。
※必ず試しぬいをして、正しくぬえることを確認しましょう。
※伸縮性のある布には、裏に芯地を貼り、押さえ圧調節レバーを「1」または、「2」にしてぬいます。









- ④押さえ上げをあげて上糸を押さえの穴から下に 通し、横に引き出して下糸とそろえます。
   布を入れ、押さえのスタートマークとぬい始めの位置を合わせ、針をさして、押さえ上げをさ げます。
- ※ ぬい始めに、押さえスライダーとバネ保持のあいだ にすきまがないことを確認してください。すきまが あると、ぬい終わったときぬいずれがおこることが あります。



ミシンをスタートさせます。
 ボタンホールをぬい終わったところで、自動的に止まります。

【ぬっていく順序】

- ステップ1・・・かんぬきと左側のボタンホール ぬいをします。
- ステップ2・・・右側のボタンホールぬいをしま す。
- ステップ3・・・かんぬきと止めぬいをして自動 的に止まります。

⑥ 押さえ上げをあげます。





#### かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどき でかがった糸を切らないように切り開きます。

 ⑧ ボタンホールぬいが終わったら、BHレバーを 止まるまでいっぱいに押しあげて、もどしてく ださい。

#### ★ぬい目のあらさ調節



【ぬい目のあらさをかえるとき】

ぬい目のあらさキーを押すと、自動セットされて いる数値0.4が表示されます。 「一」または「+」キーを押して0.2~0.8の範囲 でかえてください。

※ボタンホール#17、#18のぬい目のあらさをかえるには0.5~1.0の範囲でかえてください。

#### ★ぬい目の幅調節・・・模様#17/18



- ぬい目の幅キーを押すと、自動セットされている 数値5.0が表示されます。
- 「一」または「+」キーを押して2.5~7.0の範囲 でかえてください。
- ※模様#10、#15、#16のぬい目の幅は、33ページをごらんください。



※ぬい方およびぬい目のあらさ調節は、センサーボタンホール#10と同じです。

## ◎芯入りセンサーボタンホール







 Rオートマチックボタンホール押さえを押さえ ホルダーにセットして、芯糸の輪を押さえのう しろ側にあるつのにかけ、押さえの下から手前 に平行になるように引き出し、前側の三つ又に はさみます。

ぬい目の幅は芯糸に合わせてセットします。

② 上糸と下糸を横に引き出してそろえます。 ぬい始めの位置に針をさして押さえ上げをさげ ます。

ミシンをスタートさせて、センサーボタンホー ルの手順と同じようにぬいます。

③ 左側の芯糸を引いて、たるみをなくし余分な糸 を切ります。

※穴のあけ方は、36ページをごらんください。









 ③ファスナーの端から5cmほど手前でミシンを 止め、針を布にさします。
 押さえ上げをあげてスライダーを押さえの向こ

う側にずらし、押さえ上げをさげて残りの部分をぬいます。

④ファスナーをとじ、スライダーを上にたおし、
 上の布をファスナーの上にかぶせます。
 かぶせた布と台布をしつけで止めます。

⑤押さえホルダーをファスナー押さえの左側に付けかえ、上の布のあき止まりを返しぬいし、むしのきわに押さえの端をあててぬいます。ファスナーの上側を5cmほど残したところで止め、はずみ車をまわして針をさげ、針を布にさしたままで押さえ上げをあげて、★準備の手順②でぬったしつけ糸をほどきます。

⑥スライダーを押さえの向こう側にずらし、押さ え上げをさげて残りの部分をぬいます。ぬい終 わったら手順④でぬったしつけ糸をほどきます。







(ぬい)

- ボタン受け台を一杯に引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出し て下糸とそろえます。
- ③ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげ 自動的に止まるまでぬいます。
- ※1回のぬいで、最大長さ約2cm、最大幅約0.7cmま でぬえます。
- ④ 布の向きをかえてくり返しぬいます。

【2cmより短い長さでぬう場合】 最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押 して、自動的に止まるまでぬいます。

【ダーニングの記憶】 ぬいのあとに(M)キーを押すと、くり返し同じ 記愔 長さのダーニングができます。



## ◎かんぬき止めぬい





※ぬい目に力がかかって、ほつれやすい部分などに 使うと、ぬい目がしっかりします。

1回のぬいで、オート値で1.5cmが自動的にぬえま す。

ぬい目の幅、あらさをかえたいときは、

- + または - + たって調節してくだ ^{______}または <u>- +</u> キーを押して調節してくだ さい。

1.5cmより短い長さでぬうときは、必要な長さまで ぬい、返しぬいボタンを押すと、その長さが決まり ます。

【かんぬき止めの記憶】

(M) _{記憶} キーを押して、再スタートすると、くり返し 同じ長さのかんぬき止めがぬえます。

【模様位置ずれの整え方】…………… 模様の位置がずれる場合には、実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。







 布を巻き込みやすくするため角を少し切り、押 さえのうずの中に布を針がとどくところまで入 れて、針をさして押さえ上げをさげます。

② 上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら、 手ではずみ車を手前に3~4回まわします。 正しく巻き込まれたら、親指と人さし指で布を つまみ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持 ち上げながらぬいます。



◎ピンタック





① 布の折り山をガイドに合わせてぬいます。

 ゆい終わったら片返しにして、アイロンをかけ整 えます。

## ◎キルティング





キルターを取り付け穴に入れ、ぬい目の間かくに合 わせます。

※キルターは前にぬったぬい目をたどるのに使います。

#### ◎シェルタック





※模様#23を選ぶと、画面の糸調子に6~8 が表示されシグナルが点滅します。

マニュアル糸調子「6~8」でご使用ください。

- ① 布をバイアスに二つ折りにします。
- ② 針が右にきたとき布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。

布を開き、アイロンで山を片側にたおします。

※糸調子は試しぬいをしてシェルタックの山がきれい になるように調整します。

#### ◎アップリケ





※ほかに#25、#26などの模様が使えます。

押さえ圧調節レバーを「2」に合わせます。 アップリケ布を糊づけするか、しつけで止めます。 アップリケ布が針の左にくるようにし、スリット をアップリケ布のふちにそわせながらぬっていき ます。

- ※カーブのところや方向転換するところでは、ミシン を止め、上下停針ボタンを押して針を下位置にした ままで方向をかえると、きれいに仕上がります。
- ※ぬい終わったら、押さえ圧調節レバーを「3」にもどします。



※ほかに#37、#61などの模様が使えます。



上糸の調子を弱くして、ぬい目のあらさが3.0~ 4.0の直線を1cm間かくで数本ぬいます。 上糸と下糸を布の片側でむすび、反対側から下糸 を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。

直線ぬいと直線ぬいのあいだに模様ぬいをしてか ら直線ぬいの糸を抜き取ります。

## ◎ファゴティング





※ほかに#30、#33などの模様が使えます。

布端と布端の間かくを0.3~0.4cmあけて、下に あて紙をします。 布の表から間かくの中央を中心にしてぬいます。 最後にあて紙を取ります。

## ◎スカラップ(A)





①布を中表に合わせ、布端をぬいます。

- ぬい目にそって、0.3cmくらいぬいしろを残して切りとり、ぬいしろに切り込みを入れます。
- ⑦ 布を表に返して、スカラップの山を表に出し、 アイロンで仕上げます。

◎スカラップ (B)





※模様#42も使用できます。

① 布を表から、布端を1cmくらい残してぬいます。

② 糸を切らないように、外側の布を切り落とします。

## **〇パッチワーク** 模様 押さえ Fサテン押さえ 文 つく 東 東 29 オート F 5025



布を中表に合わせ、地ぬいをしてぬいしろを割り ます。 布の表から地ぬいの線を中心にしてぬいます。

#### ◎模様密着ぬい





※模様は、#40~#49が使えます。

布が縮むときは、下に紙を敷くか、または、芯地 を貼ると、きれいに仕上がります。

「止めぬい」ボタンを押すと、その模様の最後で 自動的に止まります。

## ◎クロスステッチ





刺しゅうによく使われるクロスステッチができま す。

※「ぬい目の幅」キーで調節すると、ステッチの大き さがかえられます。

#### ◎飾りぬい





※模様は、#35~39、#50~68などが使え ます。

テーブルクロスなどの飾りぬいとして使用します。 布が前後するので、ぬい目が曲がらないように注 意してぬいます。





- 【3本コードのとき】 ① コードを、押さえばねの下にくぐらせ、みぞに 通します。
- ② コードを押さえのスリットから押さえの下をく ぐらせ、押さえのみぞに入れます。
- ③ コードを平行にそろえて、ぬい目がコードにま たがるように、ぬいます。
- ※コードは、極細毛糸やフランス刺しゅう糸、レース 糸などを利用します。

【1本コードのとき】 ※模様は、#52も使えます。

押さえの中央のみぞを使い、模様#05のぬい目の幅を調節してぬいます。

#### ◎2本針ぬい



※模様は、#01、#05、#29、#31、#32 #37、#40、#42、#60、#67などが使 えます。

これ以外の模様をぬうときには、試しぬいをし てください。

- ※2本針ぬいのとき押さえはA基本押さえ、また はFサテン押さえをご使用ください。
- ※針の取りかえは、電源スイッチを切って行なっ てください。
- ※補助糸立て棒の下側に糸こま受け台を差し込ん で、取り付け穴に補助糸立て棒を立て、糸こま を入れます。(17ページをごらんください。)

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中で よじれないように①~⑥の順序で正しくかけてく ださい。

①~④の糸の通し方は、1本針のときと同じです。

⑤針棒糸掛けに左右に分けてかけます。

- ⑥2本針に左右に分けて糸を通します。
- ※針の手前から向こう側に、手で通してください。 (糸通しは使えません。)
- ⑦電源を入れ、模様を選んで2本針キーを押しま す。
- ※「2本針」キーを押すと、2本針マークが表示されま す。
- ※ぬい方向をかえるときは、針を上げて布の方向をか えてください。



#### ◎模様の形の整え方



布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては、 模様の形がくずれる場合があります。実際にぬ うときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り 調節ねじで調節してください。

※標準指示マークと指示線が一致する位置が、模様 を正しくぬえる目安の位置です。

【スーパー模様の形の整え方】(スーパー模様は、前進ぬいと後進ぬいがある模様です。)



図(A) のように模様がつまっているときは、 送り調節ねじを [+] 方向にまわします。

図(B) のように模様がのびているときは、送り 調節ねじを「--」 方向にまわします。

【オートボタンホール(#19)の左右のぬい目あらさの整え方】



図(A)のように左側があらいときは、送り調節 ねじを「+」 方向にまわします。

図(B)のように右側があらいときは、送り調節 ねじを「--」 方向にまわします。 ●プログラムぬい(模様の組み合わせ「記憶」ぬい)

**○連続模様ぬいの例**(模様#49·#47)



◎止めぬいを使った模様ぬいの例(模様#49・#47・#69)



※プログラムするとき正しくない操作をすると警告電 子音(ブザー)が鳴って誤りを知らせてくれます。

#### **○反転記憶を使った模様ぬいの例**(模様#45)



模様を選んでから「反転記憶」キーを押すと、キー を押した数だけその模様を左右反対に記憶しま す。

①選択モードを選びます。

②模様#45を選びます。

- ③「記憶」キーを押します。
- ④「反転記憶」キーを押します。
- ⑤ミシンをスタートしてぬいます。
- ※ぬい終わりは、最後の模様をぬっている途中に 「止めぬいボタン」(③)を押すと、模様を最後 までぬって止めぬいをし、自動的に止まります。

#### ◎プログラムぬいを途中でやめたとき



【プログラムのはじめにもどすときは】 ・・(先頭頭出し)

ぬっている途中でミシンを止め、「記憶」キーを押 すと、プログラムのはじめにもどります。

①プログラム内容
 ②ミシンを止めた位置
 ③ミシンを止めたら「記憶」キーを押します。
 ④ミシンをスタートさせると、プログラムしたはじめの模様からぬっていきます。

【ぬいかけた模様のはじめからぬうときは】 ・・(途中頭出し)

ぬっている途中でミシンを止め、「反転記憶」キー を押すと、ぬいかけた模様のはじめにもどりま す。

プログラム内容
 ②ミシンを止めた位置

③ミシンを止めたら「反転記憶」キーを押します。
 ④ミシンをスタートさせると、ぬいかけていた模様のはじめからぬっていきます。



#### ◎エロンゲータぬい





「もようのながさ」キー いえの を押すごとに模様の長さを1~5倍にかえられます。

ぬい目の幅、あらさをかえると、模様はさらに変 化します。

※模様は、
40 41 42 43 44 45 46 47 48
が使えます。



- ① 選択モードを選びます。
- ② 模様#46を選びます。
- ③ 「記憶」 キーを押します。
- ④ 模様#46を選びます。
- ⑤「もようながさ」キー(エロンゲータ)を押し ます。もう一度押して x2 にします。
- ⑥「記憶」キーを押します。
- ⑧ ミシンをスタートしてぬいます。
- ※ぬい終わりは、最後の模様をぬっている途中に 「止めぬいボタン」(③)を押すと、模様を最 後までぬって止めぬいをし、自動的に止まります。



## ◎ワンポイントぬい



※模様#55、#56がワンポイント模様です



上糸と下糸を横に引き出します。

※模様の始めと終わりに、止めぬいが自動セットされています。



#### ◎プログラム内容の確認

(例)模様#42~48が記憶されているとき



- 「編集」キーを押します。
   はじめに記憶した模様にカーソルが点滅します。
- ※⇒マークは、「模様#46」のうしろにも、模様が記憶 されていることを示します。
- ②「ぬい目の幅」キー「+」でカーソルを移動させます。
- ※「一」キーを押すと左へカーソルが移動します。
- ③はじめの表示にもどすときは、「編集」キーを押します。

◎内容の一部を取り消すとき

(例)模様#42~48が記憶され、模様#44を取り消すとき



①「編集」キーを押します。

- ②「ぬい目の幅」キー「+」で「模様#44」のところへカーソルを移動します。
- ③「とりけし」キーを押すと、「模様#44」が取り消されます。
- ④「編集」キーを押します。

◎内容の一部挿入

(例) 模様#42~48が記憶され、#43と#44のあいだに#58を挿入





◎統一マニュアル方式



プログラムされた複数模様全体を1つの模様として、ぬい目の幅・あらさを一括調節する方法です。

- (例)ぬい目の幅を統一する方法
- ① 模様#58・#65・#39を記憶します。
- ②「ぬい目の幅」キーを押します。
- ※ぬい目のあらさは「ぬい目あらさ」キーを使い、ここ で同時に変更できます。
- ③「一」キーを押してぬい目の幅を5.0にします。
- ※ミシンをスタートさせてぬうと、すべての模様のぬい 目幅が最大5.0に設定されます。

- プログラムされた個々の模様について、ぬい目の 幅・あらさ・模様長さを調節する方法です。
- (例) 模様長さ#46の1カ所を変更する方法 (模様#48・#46・#48を記憶)
- 「編集」キーを押します。
- ②「ぬい目の幅」キーを押し変更する模様にカー ソルを合わせます。
- ③「説明」キーを押します。
- ④「もようのながさ」キーを押し「x2」にします。
- ※ぬい目の幅は「ぬい目の幅」キーで、ぬい目のあらさ は「ぬい目のあらさ」キーを使い、ここで同時に変更 できます。
- ⑤「説明」キーを押します。
- ※「説明」キーを押したあと、スタート・ストップボタ ンでぬうことができます。
- ⑥「編集」キーを押します。

※始めの画面にもどすときに押します。



#### ◎個別マニュアル方式

# ●ミシンのお手入れ

## ◎かまと送り歯の掃除



# ▲ 注意 ・お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、 コンセントから電源プラグを抜いてください。 ・説明されている場所以外は、分解しないでください。 感電・火災・けがの原因になります。

①針と押さえを外します。
 止めねじを外し、針板を外します。

②ボビンを取り出し、内がまの手前を上に引き ながら外します。

③内がまをブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。

④送り歯のごみをブラシで手前に落とし、さら に外がまを掃除します。

⑤外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

※ブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、電 気掃除機などで吸い取ってください。



- ①内がまを差し込みます。
  内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。
- ②ボビンを入れ、2カ所の針板ガイドピンに針板 ガイドの穴を合わせ、針板を取り付けます。

③止めねじをしめます。

※お手入れが終わったら、忘れずに針と押さえを付け てください。

# ●ランプの取りかえ方



#### ⚠ 注意

- ランプを交換するときは、
- 必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラ グを抜いてから行なってください。
   また、ランプが冷えてから行なってください。
- 感電・やけどの原因になります。

【取り外し】

①面板を開けます。

②ランプソケットをホルダーから外して、ランプ を引き抜きます。

【取り付け】

- ③ランプのピンをソケットの穴に合わせながら、 差し込みます。
- ④ランプソケットをホルダーに取り付け、面板を 閉めます。

# ●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる。	<ol> <li>1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所にからみついている。</li> <li>2. 上糸調子が強すぎる。</li> <li>3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。</li> <li>4. 針の付け方がまちがっている。</li> <li>5. ぬい始めに、上糸・下糸を押さえの下にそろえて引いていない。</li> <li>6. ぬい終わったとき、布を手前に引いている。</li> <li>7. 針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。</li> </ol>	19 ページ参照 22 ページ参照 15 ページ参照 15 ページ参照 23 ページ参照 23 ページ参照 15 ページ参照
下糸が切れる。	1. 下糸の通し方がまちがっている。 2. 内がまの中に、ごみがたまっている。 3. ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。	18ページ参照 62ページ参照 ボビンを交換する。
針が折れる。	<ol> <li>針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。</li> <li>針止めねじのしめ付けがゆるんでいる。</li> <li>ぬい終わったとき、布を手前に引いている。</li> <li>布にくらべて針が細すぎる。</li> </ol>	15ページ参照 15ページ参照 23ページ参照 15ページ参照
ぬい目がとぶ。	<ol> <li>針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。</li> <li>布に対して、針と糸が合っていない。</li> <li>伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャノメブルー針 (市販SP針)を使っていない。</li> <li>上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>品質の悪い針を使用している。</li> </ol>	15ページ参照 15ページ参照 15ページ参照 19ページ参照 針を交換する。
ぬい目がしわになる。	<ol> <li>1. 上糸調子が合っていない。</li> <li>2. 上糸・下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみ ついている。</li> <li>3. 布にくらべて針が太すぎる。</li> <li>4. 布にくらべてぬい目があらすぎる。</li> <li>5. 押さえ圧が合っていない。</li> <li>*特にうすい布をぬうときは、下側に紙をあててぬってください。</li> </ol>	22 ページ参照 18,19 ページ参照 15 ページ参照 ぬい目を細かくする。 13 ページ参照
布送りがうまくいかない。	1. 送り歯に糸くずがたまっている。 2. ぬい目が細かすぎる。 3. 送り歯があがっていない。	62 ページ参照 ぬい目をあらくする。 13 ページ参照
ぬい目に輪ができる。	1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸にくらべて針が太すぎるか、細すぎる。	22ページ参照 15ページ参照
ミシンがまわらない。	<ol> <li>コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方が まちがっている。</li> <li>かまに、糸やごみがたまっている。</li> <li>糸巻き軸が、下糸を巻いたあと、もとにもどっていない。 (糸巻き状態になっている)</li> <li>フットコントローラを接続したままでスタート・ストップボタンを押している。</li> </ol>	6 ページ参照 62 ページ参照 17 ページ参照 6 ページ参照
ボタンホールがうまく いかない。	<ol> <li>1. 布に対して、ぬい目のあらさが合っていない。</li> <li>2. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。</li> </ol>	36 ページ参照 33 ページ参照
音が高い。	<ol> <li>わまの部分に、糸くずが巻き込まれている。</li> <li>送り歯に、ごみがたまっている。</li> <li>電源投入時、ステッピングモータからわずかな共鳴音が出る。</li> </ol>	62 ページ参照 62 ページ参照 異常ではありません。
ぬいずれがおこる。	1. 押さえ圧が合っていない。	13ページ参照

#### 修理サービスのご案内

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●無料修理保証期間内(お買い上げ日より1年間です)およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売 店が承りますのでお申しつけください。

#### 修理用部品の保有期間

●当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要に応じ て販売店に供給できる体制を整えています。

#### 無料修理保証期間経過後の修理サービス

●取扱説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後でも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。

ただし、次のような場合は修理できないときがあります。

- 1)保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
- 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
- 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
- 4) お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
- 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。
- ●長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- ●有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

#### お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は 下記にお申しつけください。

#### 蛇の目ミシン工業株式会社

住	所	〒193-0941	東京都八王子市狭間町 1463 番地
電	話	お客様相談室	0120 - 026 - 557 (フリーダイヤル)
			042 - 661 - 2600

受付平日9:00~12:0013:00~17:00

(土・日・祝日・年末年始を除く)

ホームページ http://www.janome.co.jp

メールでのお問い合わせ customer@gm.janome.co.jp

				仕  様
使	用	電	圧	100V 50/60Hz
消	費	電	力	50W/ランプ 12V 3W
外	形	寸	法	幅 41.5cmX 奥行 18.0cmX 高さ 29.5cm
重			围	9.0Kg(本体)
使	月	3	針	家庭用 HAX1
縫	迈	Ē	度	毎分 700 回転
				フットコントローラー使用時:毎分820回転

仕様および外観は改良のため 予告なく変更することがあり ますのでご了承ください。